みどり通信

第５号

発行：地域創生課

10月20日(日)、翠小学校で『防災学習会をやってみよう』

６月26日(水)、５回目となる意見交換会が行われました。参加したのは、地域の方々26人と集落支援員１人、市職員６人、地域おこし協力隊２人の計34人。

これからの翠地区について、机で考えるだけじゃなく、まずはやってみようーということで、防災学習会について話し合いました。

○決定したこと

【開催期日】令和６年10月20日(日)、午前中

【開催場所】翠小学校

○これから細かく決めていくこと

(防災について学ぼう)
・防災意識を高める学習会
・能登地震被災地派遣職員報告　など

(避難所体験コーナー)
・防災テントや段ボールベッド、簡易トイレを利用した避難所体験

(身近なものでつくる防災グッズコーナー)
・新聞紙で作る防災スリッパ、缶詰ランタンなど

(防災食コーナー)
・防災食の試食、水の確保

(翠地区の取組紹介・展示コーナー)
・地域の防災マップ等の紹介

(VR/ARによるバーチャル防災体験コーナー)

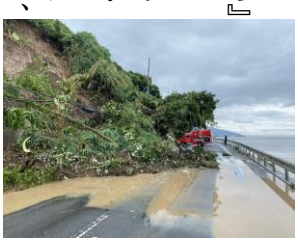
○今後のスケジュール

今後は、各グループに分かれ、リーダーと副リーダーを中心に、具体的な取り組みを決定していきます。そして、８月22日(木)に全体で協議し、翠地区の方々が企画した手づくりの防災学習会について、最終決定をする予定です。

【集中豪雨・ゲリラ豪雨に注意！】

７月11日(木)、高野川の国道斜面が崩れ落ち、全面通行止めになりました。この時、中山では、１時間49・５ミリの降雨を記録しています。翌日の未明には、松山市でも土砂崩れが起こり、３人の尊い命が奪われました。

『家の裏山が崩れたら』
『家の横の川があふれたら』
『家が停電・断水になったら』など、身近で起こりうる災害を自分ゴトとして考え、準備をしておけば、ほんの少しかもしれませんが、慌てない・冷静な行動ができるかもしれません。



≪第６回　翠地区意見交換会≫
だれでも参加できます。(オンライン可)

第６回は「まずはやってみよう！」の第一弾とし、防災学習会について、最終の話し合いを行い決定します。

参加希望者はお気軽にご連絡ください。

■日時　令和６年８月22日(木)18：30～
■場所　翠小学校ランチルーム
■申し込み
☎0089-986-1111
(集落支援員：森田)
✉chiikisousei@city.iyo.lg.jp

地域おこし協力隊 山下 弘輝 隊員 を紹介します

7月1日(月)、双海の農業活性化をミッションとして山下さんが協力隊として着任しました。

鳥取県出身の山下さん。18歳の時、専門学校の入学で愛媛の地を踏み、愛媛が大好きになりました。学生時代は、西条市のサッカークラブに入るほどのサッカー好き。卒業後、鳥取の民間企業で働き、また短期間でしたが、農業生産法人で、白ネギやお米を作っていました。

趣味はドライブ。双海の海岸線や四国カルストがめっちゃ好きです。クラシックギターやアコースティックギターを弾いたりもします。

山下 弘輝(やました ひろき)さん

年　齢：30歳(１月４日「イヨ」の日生まれ)
身　長：四捨五入で180㎝(実際は178センチ)
血液型：Ａ型
出身地：鳥取市
趣　味：ドライブ・ギター
特　技：サッカー
好きな曲：心を熱くしてくれる曲
好きな食べ物：カレーライス、お米
苦手な食べ物：粕汁
座右の銘：真の豊かさはお金では買えない。

――翠地区の良いところは？――

今年、ほたる祭りに初めて参加して、「オリジナルなお祭りで、今まで見たことがない素敵なお祭りだなあ」と思いました。また、山に囲まれた翠小学校が象徴しているように、風景や土地は都会には無いかけがえのない素晴らしい空間だと思います。

――やってみたいことは？――

まずは、皆さんに顔を覚えてもらうこと。

次に、イノシシ被害が多いと聞くので狩猟免許を取得し、田畑を守り、農家の不安を少しでも解消できればと思っています。獲れたイノシシは、お肉などを活用した新たな産業につながるきっかけになると思っています。

また、耕作放棄地の有効活用として何か作物を栽培してみたいという気持ちもあります。

協力隊員として着任して2週間。自分のやりたいことが新しいことに挑戦することなのか、地域の伝統的なことを守っていくことなのか、模索中ですが、地域の方々に喜んでいただけることをやってみたいと思っています。

翠地区の皆さん、私を見かけたら気軽に声をかけてください。少しでも皆さんのお力になれるように頑張りますので、よろしくお願いします。

昭和初期、若者の力くらべとして使われていた久保集会所の「力石」。
小さい石は持ち上げたが、大きな石は……。